

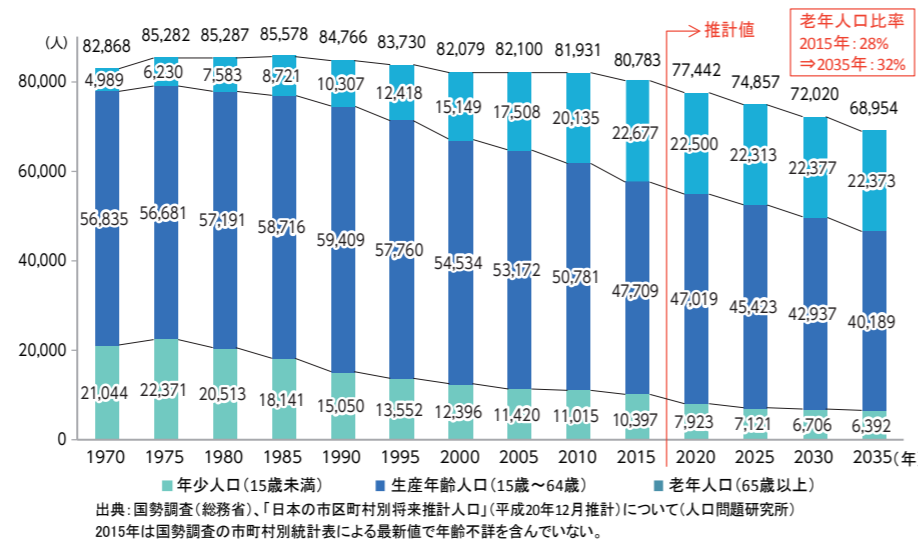
鉄道と路線バスをカバーする地域交通サービス

蒲郡市の人口推移

蒲郡市の人口はすでに減少し始めており、将来も減少する見通しです。

一方で、少子高齢化が進み、65歳以上の高齢者の人口はしばらく増加する見通しです。

高齢者の自動車運転による交通事故の拡大が危惧されるため、地域公共交通の充実が重要となっています。

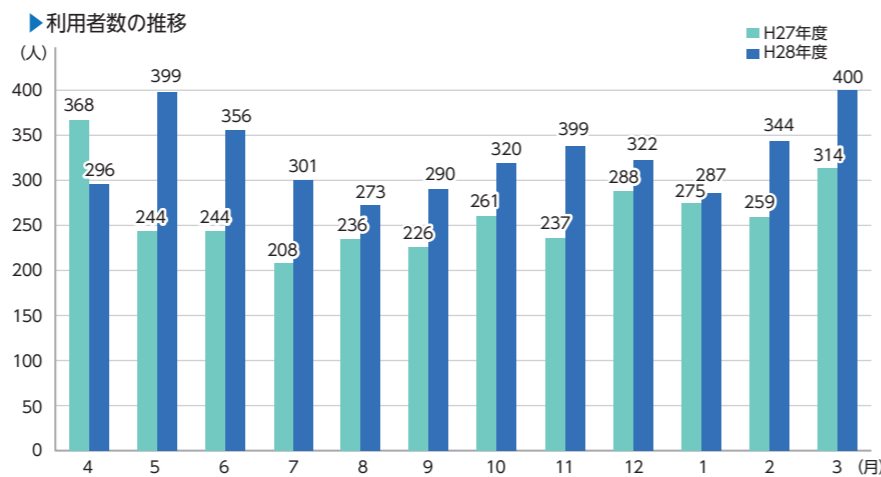


新しいコミュニティバス (形原地区での取組)



形原地区あじさいくるりんバスの運行ルート

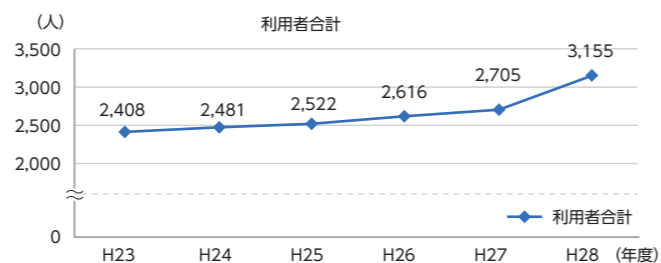
鉄道と路線バスが運行していないエリアをカバーする新しい交通手段として、形原地区にコミュニティバスが運行されました。地域組織が主体的に動かれ、事業化されており、利用者数も拡大しています。他の地域での導入も期待されています。



高齢者タクシー運賃助成事業

市内に住民登録のある満70歳以上の方を対象に、タクシー料金の3割分を割引する「高齢者割引タクシーチケット」の配布事業を行っており、利用者数は増加傾向にあります。

タクシーは、自宅と目的地を結ぶ大変便利な交通機関であり、高齢者の方々の外出機会の拡大の一助となっております。



蒲郡市の地域公共交通の実態について

交通防犯課 66-1156

蒲郡市における地域公共交通の実態について整理しました。

蒲郡市には、鉄道・路線バス・タクシーなどの公共交通が運行されていますが、下記に示すように、年間約1.6億円の財政支援を行い維持しています。他市と比較しても決して少ない額ではありません。

これまで右の年表に示す様々な取組を行ってきましたが、今後も、人口減少・少子高齢化が進み、厳しい状況が続くものと予想しています。

地域公共交通を積極的に利用していただき、維持するためのご協力をお願いします。

年月	取組内容
H21.9	市民まると赤い電車応援団の結成
H22.5	高齢者タクシー運賃助成事業の開始
H25.3	蒲郡市地域公共交通会議の設置
H26.3	交通計画(地域公共交通総合連携計画)の策定
H26.11	※ラグーナテンボス無料シャトルバスの運行開始
H27.4	形原地区あじさいくるりんバスの試験運行開始
H27.4	路線バスのダイヤ等の見直し
H28.1	※三河地区のタクシー運賃の改定
H28.6	交通計画(地域公共交通網形成計画)の策定
H29.4	路線バスのダイヤ等の見直し(一部減便)

※印表記は、地域公共交通を取り巻く環境変化を示す。

蒲郡市内で運行している地域公共交通 (財政支援を受けて運行)



鉄道(名鉄西尾・蒲郡線)



路線バス(名鉄バス東部)



形原地区あじさいくるりんバス

公共交通実負担額の状況(東三河地域) 蒲郡市では、年間約1.6億円の財政支援を行っています。

市町村名	自治体の実負担額※1	人口※2	一人当たり事業費
蒲郡市	46,186千円 (160,690千円※3)	80,552人	573円/人 (1,995円/人)
豊橋市	63,662千円	374,398人	170円/人
豊川市	113,256千円	183,074人	619円/人
新城市	70,684千円	46,360人	1,525円/人
田原市	170,954千円	61,598人	2,775円/人

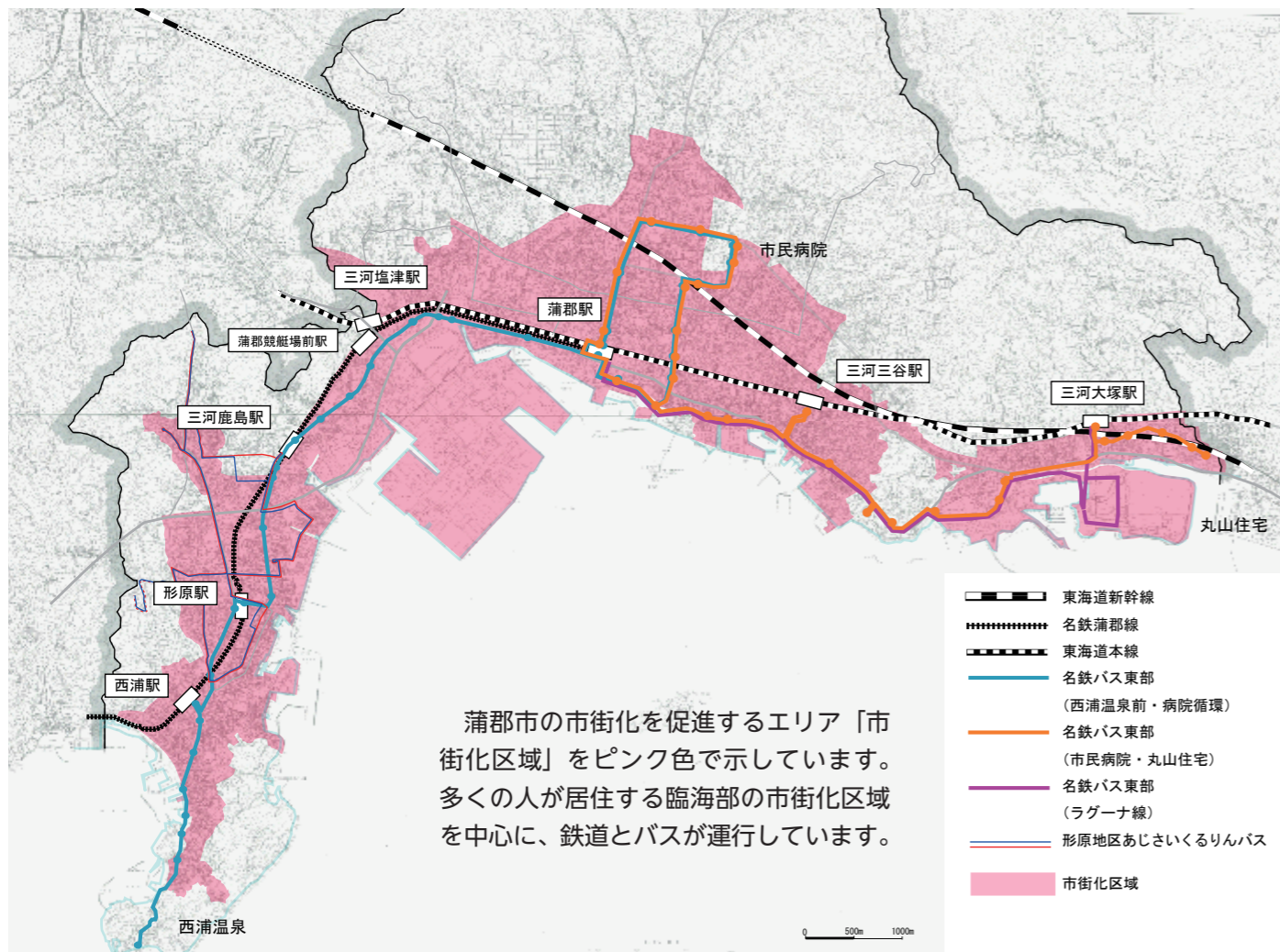
※1: 愛知県振興部交通対策課「愛知県内の市町村における自主運行バス等の運行状況について」(平成28年5月調査)より

※2: 愛知県「愛知の人口(県及び市区町村別推計人口及び要因別移動数)」(平成29年1月1日現在)より

※3: 名鉄西尾・蒲郡線とタクシー割引助成制度への負担額を含む。

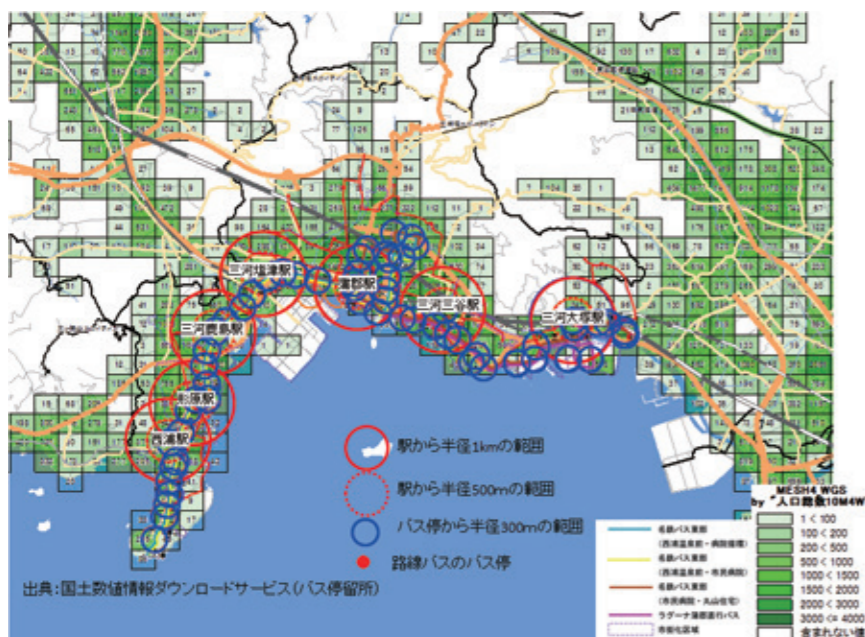
鉄道とバスのネットワークの現況

蒲郡市内の鉄道・バスのルート



鉄道とバスでカバーする人口割合

下図は、鉄道駅から半径 1km、路線バスのバス停から 300m の範囲で円を描いた図です。



その中に居住している人口を調べると約 62,000 人となりました。これは、総人口約 82,000 人の約 76% に相当します。

臨海部の人口集積の多いエリアは地域公共交通で概ねカバーできていますが、山間部等の一部エリアには鉄道・路線バスが通過していないことが分かります。

地域公共交通による人口カバー率 (H25 調査時点)

項目	人口 (人)	備考
蒲郡市総人口	82,249	平成 22 年国勢調査
公共交通機関カバーエリア人口	62,101	駅からの半径 1 km、バス停から半径 300m
人口カバー率	75.5%	

鉄道とバスの利用状況について

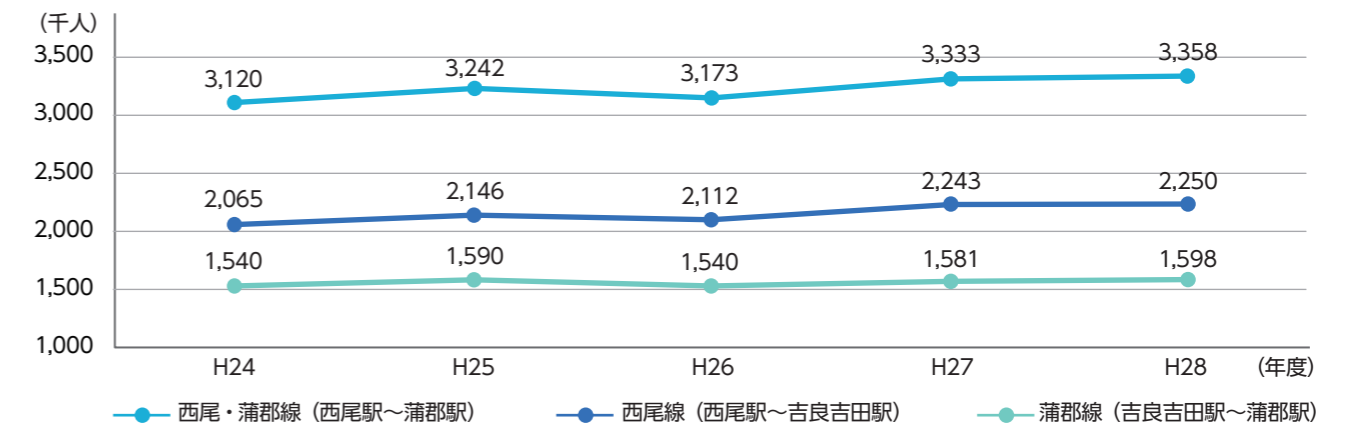
名鉄西尾・蒲郡線の利用状況



蒲郡市内には、JR 東海道本線、名鉄西尾・蒲郡線の鉄道が運行されています。そのうち、名鉄西尾・蒲郡線は蒲郡市と西尾市による財政支援により維持している状況です。利用状況としては、年々少しずつではありますが増加傾向にあります。しかし、存続させるためにはより多くの方々に利用していただく必要があります。

乗って残そう！の気持ちで皆さまに利用していただき、運賃収入の増加につなげていただきたいと思います。

名鉄西尾・蒲郡線利用状況



路線バス (名鉄バス東部) の利用状況

蒲郡市内のバス路線は、西浦方面から蒲郡駅・市民病院を結ぶ路線と、大塚方面から蒲郡駅・市民病院を結ぶ路線から形成されています。全路線赤字で、財政支援により維持している状況です。

鉄道と同様に、皆さまにもっと利用していただき、運賃収入の増加につなげていただきたいと思います。



路線バス (名鉄バス東部) 利用状況

